動物実験規程実施細則

（令和４年４月１日施行）

大阪河﨑リハビリテーション大学

大阪河﨑リハビリテーション大学　動物実験規程実施細則

（趣旨）

第１条　この細則は，大阪リハビリテーション大学動物実験規程（以下「規程」という。）に基づき，規程の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（教育訓練）

第２条　規程第25条に規定する教育訓練は，少なくとも毎年１回行うものとする。

２　前項の教育訓練は，学長が行う。

３　学長が動物実験に関する科目と認定した授業科目を履修した者は，第１項の教育訓練を受けたものとみなす。

４　前項の動物実験に関する科目の認定は，別記様式第１号による申請に基づき行うものとする。

（動物実験の審査手続）

第３条　規程第５条に規定する動物実験計画書は別記様式第2-1号のとおりとし，動物実験計画変更申請書は，別記様式第2-2号のとおりとする。

（実験実施結果の報告）

第４条　規程第６条第２項に規定する実験計画の実施の結果に関する報告は，別記様式第３号により行うものとする。

（実験動物の飼養保管施設又は実験室の設置
若しくは変更の申請又は廃止の届出）

第５条　規程第７条第１項に規定する申請は，別記様式第4-1号のとおりとし，承認を得た事項を変更するときは，第4-2号により行うものとする。

２　規程第12条に規定する届出は，別記様式第4-3号により行うものとする。

（実験に係る標示）

第６条　実験に使用する施設には，別記様式第５号による標識を掲げるものとする。

（細則の改廃）
第 7 条　この細則の改廃は，動物実験委員会の発議により，教授会に諮り，学長が行う。

附　則
この細則は，平成 19 年 7 月 2 日から施行する。
附　則
この細則は，平成 29 年 5 月 16 日から施行する。
附　則
この細則は，平成 31 年 4 月 1 日から施行する。
附　則
この細則は，令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

別記様式第１号

実験動物教育訓練代替科目　申請・認定書

年　　月　　日

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

申請者

所属・職名：

氏　　名：

下記の授業科目を動物実験の教育訓練として認定していただきますようお願いします。

記

学科科目名：

年　　月　　日　～　　月　　日まで　　時間　　回

対　象　者：

内　　容：

担当教員

所　属

氏　名

上記の授業科目について、大阪河﨑リハビリテーション大学動物実験規程第２５条の教育訓練に相当すると認定します。

年　　月　　日

大阪河﨑リハビリテーション大学

学長　　印

別記様式第２－１号

審査番号［　　］

年　　月　　日

動　物　実　験　計　画　書

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

実験責任者

所属・職名：

氏　　名：

以下の動物実験計画について、承認を申請します。

１．実験課題名		□新規 □変更　承認番号 （　　）
２．動物実験計画の種類（該当項目にチェック） □　試験・研究　　□　教育　　□　その他（　　）		
３．実験の概要（実験の目的・意義・得られる結果の重要性などについて具体的に記入してください）		

４．実験者				
実験責任者	ﾌﾘｶﾞﾅ	所属	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	Tel		教育訓練受講□有　□無
実験実施者	ﾌﾘｶﾞﾅ	所属	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	Tel		教育訓練受講□有　□無
	ﾌﾘｶﾞﾅ	所属	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	Tel		教育訓練受講□有　□無
	ﾌﾘｶﾞﾅ	所属	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	Tel		教育訓練受講□有　□無
	ﾌﾘｶﾞﾅ	所属	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	Tel		教育訓練受講□有　□無
	ﾌﾘｶﾞﾅ	所属	職名	動物実験の経験等
	氏名 e-mail	Tel		教育訓練受講□有　□無

５．実験予定期間（有効期間は、承認日より最長２年間）

実験開始日：　　年　　月　　日　　から　　年　　月　　日　まで

（※審査に時間を要する場合、承認日をもって実験開始日とする。）

６．使用する実験動物について

1） 動物種	系統	性別	体重または週齢	遺伝子改変の有無	微生物学的レベル	使用予定数
				□有　□無		
				□有　□無		

2） 使用予定数の算出根拠

3） 実験実施場所 ［施設名:　　（承認番号:　　）］
飼養保管場所［施設名:　　（承認番号:　　）］

4） 飼育条件（該当項目にチェック）
□個別飼育　□群飼育（群飼育の場合の1ケージあたりの匹数:　　匹）
（飼料:　　）
微生物学的環境□SPF □コンベンショナル
□その他［　　］

5） 封じ込めレベル（該当項目にチェック）
□P1A　□P2A　□P3A　□その他［　　］

７．実験方法

1） 動物実験の内容（具体的な実験処置の方法）

2） 苦痛の程度、苦痛の軽減・排除方法及び保定・拘束時間について（該当項目にチェック）
□苦痛とは関係がない実験
□許容される苦痛の範囲内である
□許容される苦痛の範囲を越えるが、実験の都合上苦痛の軽減・排除方法がない
（実験目的［項目3］又は実験方法［項目７－1）］の記入欄にその理由を記入すること）
□手術等の処置を行うときは麻酔・鎮痛剤を使用する［薬剤名:　　］
□許容される苦痛の範囲を越えたときには安楽死させる（人道的エンドポイントを適用する）
（人道的エンドポイントの判定:　　）
□短時間の保定又は拘束であるので特に問題はない:保定又は拘束時間［　　］時間
□実験の都合上長時間（24時間以上）の保定又は拘束はやむをえない
（実験目的［項目3］又は実験方法［項目７－1）］の記入欄にその理由を記入すること）
□その他［　　］

3）「動物実験処置の苦痛分類に関する解説」（SCAWのカテゴリー分類）に対する自己判断
（該当項目にチェック）
□ A　□ B　□ C　□ D　□ E

4) 安全に関して特に注意を払う必要のある実験（該当項目にチェックして内容を記載） 使用材料の感染性　　□有　□無 使用材料の毒性　　□有　□無 （有の場合）処置内容、使用量 [　　] 関連法規等の承認または基準 [　　]
5) 安全に関して特に注意を払う必要のある物質等の処置方法

8. 実験動物の処置等

1) 代替手段（培養細胞、微生物、コンピューターシミュレーションによる方法など）によらずに、生きた動物を使用する理由（該当項目にチェック） □代替手段がない □代替手段では感度・精度が不十分 □その他[　　]
2) 実験終了後の実験動物の処置等（該当項目にチェックならびに記入） 安楽死個体数♂[　　]♀[　　] 安楽死の方法 □過麻酔方法・薬剤名： □炭酸ガスの吸入 □頚椎脱臼 □後頭部殴打（特別な理由がなければ禁止されています） □断首（特別な理由がなければ禁止されています） □その他
3) 実験動物死体等の処置 □業者委託[業者名：　　] □その他[　　]
4) 物理学的、化学的または生物学的危険因子、遺伝子組換え生物の使用 □ 有（　　）　□ 無

9. 危害等の防止等

1)飼養者、実験者の防護体制の整備及び着用（該当項目にチェック） □マスク　□ゴーグル　□着衣　□手袋　□帽子 □その他[　　]

10. 備考

動物実験計画書承認審査欄

委員会記入欄	審査終了:　　年　　月　　日
	修正意見等
	審査結果 □本実験計画は、本学における動物実験規程等に適合する。 （条件等　□　　） □本実験計画は、本学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認　　年　　月　　日
	本実験計画を承認します。 承認番号:第　　号 大阪河﨑リハビリテーション大学　学長

別記様式第2－2号

年　　月　　日

動物実験計画変更承認申請書

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

実験責任者

所属・職名：

氏　　名：

動物実験計画を下記のとおり、変更したいので承認願います。

記

承認番号:〔　　〕
実験課題名:「　　」

1. 変更事項
   1)動物実験実施者の変更，実験責任者の変更

   2)実験動物種及び使用数等の変更

   3)実験実施期間の変更

   4)その他

2. 変更等の理由

備考　変更箇所について，各項目に変更内容を簡潔に記載するとともに、変更内容を反映させた動物実験申請書(別記様式第2－1号)を新たに提出すること。また、遺伝子組換え動物の追加は別途遺伝子組換え実験安全委員会の承認を得ること。

別記様式第3号

年　　月　　日

動物実験（終了・中止）結果報告書

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

実験責任者

所属・職名：

氏　　名：

下記の動物実験を（終了・中止）しましたので、結果を報告します。

記

承 認 番 号：　［　　］
終了・中止日：　　年　月　日

1. 実験課題名
2. 主な研究成果
3. 使用動物種と使用頭数
4. 終了・中止後の実験動物の措置
5. 自己点検・評価欄 ・動物実験の実施について □承認どおり実験計画を実施した □承認された計画に変更を加えて実施した（変更について承認を得ていること） □承認どおり実験計画を実施しなかった（中止したときを含む。） その理由［　　］

別記様式第4－1号

整理番号（　　）

年　　月　　日

実験動物飼養保管施設（設置・変更）承認申請書

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

下記のとおり実験動物飼養保管施設を（設置・変更）しますので、承認願います。

記

<table>
<tr><td>1</td><td>飼養保管施設名称</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>2</td><td>施設設置場所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">管理責任者</td><td>氏名</td><td></td><td>教育訓練受講</td><td>☐ 有 ☐ 無</td></tr>
<tr><td>所属</td><td></td><td>職名</td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td>設置・変更予定年月日</td><td colspan="4">年　月　日（設置・変更）予定</td></tr>
<tr><td>5</td><td>設置・変更理由</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>建物の構造</td><td colspan="4">☐ 鉄筋コンクリート造　☐ 木造　☐ プレハブ
☐ その他（ ）</td></tr>
<tr><td>7</td><td>総面積</td><td colspan="4">㎡</td></tr>
<tr><td>8</td><td>空調設備</td><td colspan="4">☐ 冷房　☐ 自動制御　☐ 手動制御
☐ 暖房　☐ 自動制御　☐ 手動制御
☐ 換気　☐ 自動制御　☐ 手動制御
☐ 湿度　☐ 自動制御　☐ 手動制御</td></tr>
<tr><td>9</td><td>照明設備</td><td colspan="4">☐ 有り　☐ 自動制御　☐ 手動制御
☐ 無し　☐ その他（採光窓等：　　）</td></tr>
<tr><td>10</td><td>飼養保管する動物種及び収容可能匹数</td><td colspan="4">☐ マウス　（　　匹）　☐ ラット　（　　匹）
☐ ハムスター（　　匹）　☐ モルモット　（　　匹）
☐ ウサギ　（　　匹）　☐ イヌ　（　　匹）
☐ ブタ　（　　匹）
☐ サル類　（和名：　　，　　匹）
☐ ヒツジ　（　　匹）　☐ ヤギ　（　　匹）
☐ ニワトリ　（　　匹）　☐ アヒル　（　　匹）
☐ ウズラ　（　　匹）
☐ その他　（和名：　　，　　匹）</td></tr>
</table>

11	飼養保管設備	□ ケージ　□ 飼育棚(ラック)　□ クリーンベンチ □ ラミナフローベンチ　□ アイソレーター □ 空調付キャビネット式飼育装置　□ 囲い □ その他(　　)
12	逸走防止策	□ ネズミ返し　□ 二重扉　□ 前室　□ 窓の封鎖 □ ケージの施錠　□ 排水溝の閉鎖 □ その他(　　)
13	衛生設備	□ オートクレーブ　□ EOガス滅菌装置　□ 流し台 □ 消毒槽　□ 噴霧器　□ 殺菌灯 □ その他(　　)
14	臭気, 騒音, 廃棄物等による周辺への悪影響防止策	□ 脱臭装置□ 防音構造□ 死体, 汚物の冷蔵・冷凍保管設備 □ その他(　　)
15	廃棄物処理方法	□ 学内焼却場　□ 処理業者(業者名:　　) □ その他(　　)
16	微生物レベル	□ SPF　□ コンベンショナル □ その他(　　)
17	封じ込めレベル(遺伝子組換え実験安全委員会による認可年月日)	□ P1A(認可年月日:　年　月　日) □ P2A(認可年月日:　年　月　日) □ P3A(認可年月日:　年　月　日) □ その他(レベル: , 認可年月日:　年　月　日)
18	飼養保管業務への従事者	□ 専任教員(　人)　□ 兼任教員(　人) □ 獣医師(　人)　□ 臨床検査技師(　人) □ 実験動物技術者(　人) □ その他(　人)
19	特記事項	

備　考

1. 自由記入欄を除き、該当するものすべての□欄にチェックしてください。
2. 施設の設置又は変更の申請には、当該施設の**配置図及び平面図**を添付すること。
3. 項目１８「飼養保管業務への従事者数」の変更については，申請を要しない。

実験動物飼養保管施設承認審査欄

委員会記入欄	調査月日:　　年　　月　　日 調査結果:　□　申請された飼養保管施設は規程に適合する。 （条件等　□　改善後使用開始すること。） □　申請された飼養保管施設は適合しない。 意見等

学長承認欄	承認　　年　　月　　日
	本申請を承認します。 承認番号:第　　号 大阪河﨑リハビリテーション大学　学長

別記様式第4－2号

整理番号（　　）

年　　月　　日

動物実験室（設置・変更）承認申請書

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

下記のとおり動物実験室を（設置・変更）しますので、承認願います。

記

<table>
<tr><td>1</td><td>実験室名称</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>2</td><td>実験室設置場所</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td rowspan="2">管理責任者</td><td>氏名</td><td></td><td>教育訓練受講</td><td>☐ 有　☐ 無</td></tr>
<tr><td>所属</td><td></td><td>職名</td><td></td></tr>
<tr><td>4</td><td>設置・変更予定年月日</td><td colspan="4">年　月　日（設置・変更）予定</td></tr>
<tr><td>5</td><td>設置・変更理由</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>6</td><td>建物の構造</td><td colspan="4">☐ 鉄筋コンクリート造　☐ 木造　☐ プレハブ
☐ その他（ ）</td></tr>
<tr><td>7</td><td>総面積</td><td colspan="4">㎡</td></tr>
<tr><td>8</td><td>空調設備</td><td colspan="4">☐ 冷房　☐ 暖房　☐ 換気　☐ 湿度制御</td></tr>
<tr><td>9</td><td>照明設備</td><td colspan="4">☐ 有り　☐ 無し</td></tr>
<tr><td>10</td><td>飼養保管する動物種及び収容可能匹数</td><td colspan="4">☐ マウス　☐ ラット　☐ ハムスター　☐ モルモット
☐ ウサギ　☐ イヌ　☐ ブタ
☐ サル類　（和名：　　）
☐ ヒツジ　☐ ヤギ　☐ ニワトリ　☐ アヒル
☐ ウズラ　☐ その他　（和名：　　）</td></tr>
<tr><td>11</td><td>主な設備</td><td colspan="4"></td></tr>
</table>

12	逸走防止策	□ ネズミ返し　□ 二重扉　□ 前室　□ 窓の封鎖 □ ケージの施錠　□ 排水溝の閉鎖 □ その他（　　）
13	衛生設備	□ オートクレーブ　□ EOガス滅菌装置　□ 流し台 □ 消毒槽　□ 噴霧器　□ 殺菌灯 □ その他（　　）
14	臭気，騒音，廃棄物等による周辺への悪影響防止策	□ 脱臭装置□ 防音構造□ 死体，汚物の冷蔵・冷凍保管設備 □ その他（　　）
15	廃棄物処理方法	□ 学内焼却場　□ 処理業者（業者名：　　） □ その他（　　）
16	微生物レベル	□ SPF　□ コンベンショナル □ その他（　　）
17	封じ込めレベル（遺伝子組換え実験安全委員会による認可年月日）	□ P1A（認可年月日：　年　月　日） □ P2A（認可年月日：　年　月　日） □ P3A（認可年月日：　年　月　日） □ その他（レベル：，認可年月日：　年　月　日）
18	特記事項	

備　考

1. 自由記入欄を除き、該当するものすべての□欄にチェックしてください。
2. 動物実験室の設置又は変更の申請には、当該実験室の**配置図及び平面図**を添付すること。
3. ４８ 時間を超える飼育を伴う実験を行う場合は、動物実験室ではなく、飼養保管施設として別記様式第4－1号により承認を受けること。

※ すでに死亡した動物を搬入して実験を行う場合は、動物実験室には該当しない。

動物実験室承認審査欄

委員会記入欄	調査月日:　　年　　月　　日 調査結果:　□　申請された動物実験室は規程に適合する。 （条件等　□　改善後使用開始すること。） □　申請された動物実験室は適合しない。 意見等

学長承認欄	承認　　年　　月　　日
	本申請を承認します。 承認番号:第　　号 大阪河﨑リハビリテーション大学　学長

別記様式第4－3号

整理番号(　　)
年　　月　　日

実験動物飼育保管施設･動物実験室廃止届

大阪河﨑リハビリテーション大学　学長　殿

下記のとおり実験動物飼養保管施設･動物実験室を廃止したので届け出ます。

記

施設の名称		
	(承認番号:)	
設置場所		
管理責任者	氏名	
	所属･職名	
廃止　年月日		
廃止の理由		
廃止後の利用予定		
廃止時に残存する動物の措置		
特記事項		

以上

確認年月日:　　年　　月　　日

動物実験委員会委員長:　　印

別記様式第5号

許　可　の　概　要

動物実験責任者	
実験計画書承認番号	
施設等承認番号	
許可の有効期間	
特記事項	